



開館カレンダーはこちら

びりびり

作：中新井 純子

さんかくのあかいかみを、びりびりとやぶって見たら？オレンジいろのかみをやぶったら…。ページをめくって、親子でにっこりできる絵本。



問 簡野道明記念吉田町図書館
☎52-3169



5分で読書

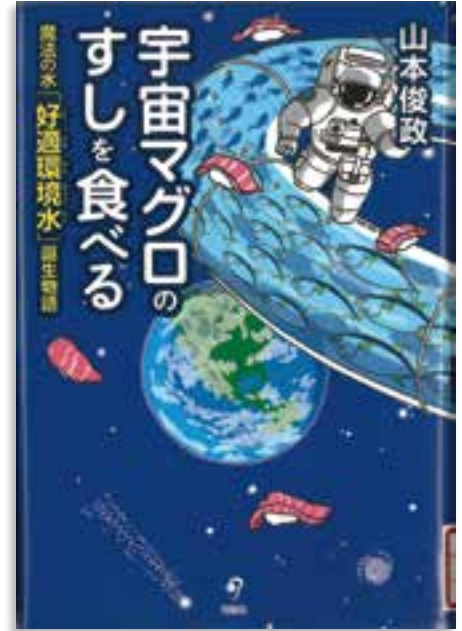
著：秦本 幸弥

学校の中にある何気ないもの。その本当の意味が分かったとき、あなたの世界は一変する！

問 中央図書館 津島分館
☎32-2725

宇宙マグロのすしを食べる

著：山本 俊政



淡水と海水とも異なる第3の「魔法の水」を作り出した筆者が、基礎研究も含めておよそ20年、どんなことに取り組んできたかを綴る。

問 中央図書館(パフィオうわじま内)
☎22-1065

かなな句会

渋柿宇和島支部

草の実

木賊句会

つしま短歌会

一水のまつ平なる初紅葉
赤とんぼとまりし君の帽子かな
朝霧に包圍されたる山の黙
沙羅の花水音風音ころころと

川崎 敬子
片桐八重子
岡田千恵子
福島 厚子

期することありや一途に秋遍路
身に入むや杖を忘れて橋渡る
挨拶は残暑を言へり電話口
札所寺歴史をつむぐ大銀杏
馴初めは松茸狩よひよんな縁
朝顔の産声確と午前四時

赤松 彌介
財前 湊子
林 妙子
若山東望榮
小島 和子
中平 豊念

一日終へちちろと闇を同じうす
鬼の城とふ山頂へ稲光
蛸のこゑに濡れたる天地かな
柿熟れて身の中程の島の径
芋の葉のくるりと風を去なしけり

細川 英子
松澤 正仁
宮崎さくを
森田 たみ
薬師寺彦介

港町競り声聞こゆ晩夏かな
佛恩を謝す歌声や爽やかに
曼珠沙華ひとと早く咲きにけり
夕焼雲刻々移る万華鏡
風立ちぬ男夕餉の冷奴
朝の画廊枝移りつつ小鳥来る

櫻井 健
松影 秋声
金田八重子
松影 美鈴
三浦 尚子
西川 洋子

「十三夜の月はいいね」と夫のいう増穂川辺
にたたずみ見上ぐ
早苗饗と聞くもなつかし草餅の里より届き亡
き父母偲ぶ
川の流れ山の移ろひを眺めつつ此の町に住み
やすらぎ覚ゆ
「エクアドル」とは何処の國ぞ四つ切りの
南瓜掌にのせ地球儀まはす
清家 幸子

文芸のひろば

